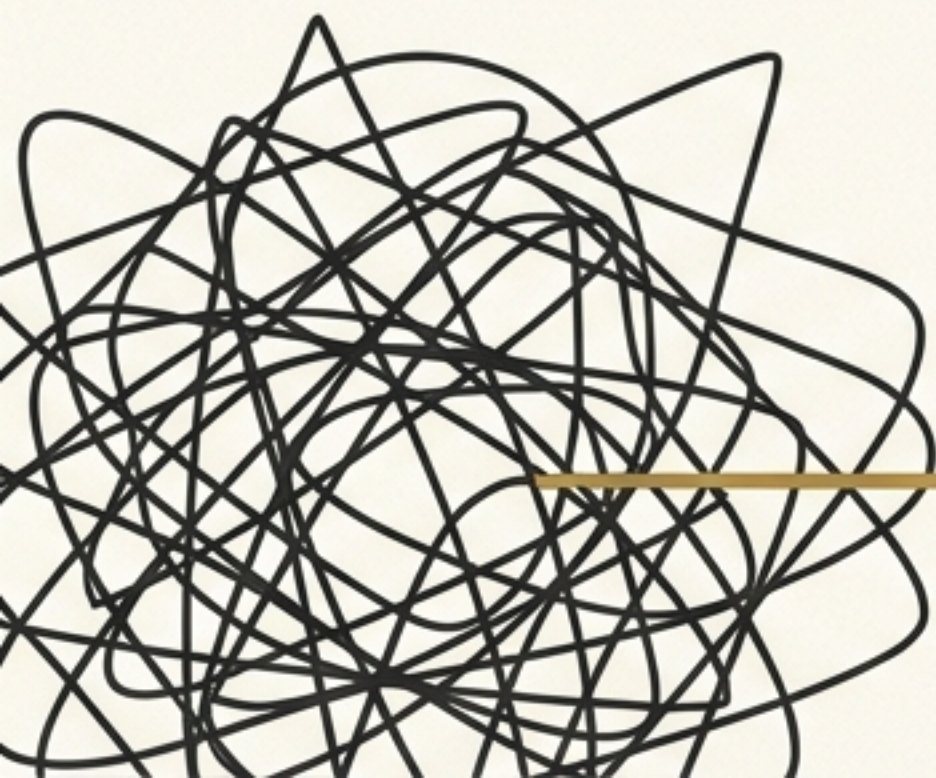


仕手株投資に特別なスキルは必要なのか？

結論から言います。いいえ、必要ありません。



株式投資のスキルは、突き詰めれば2つしかない

1.

銘柄選び

どの銘柄を取引するか

2.

取引のタイミング

いつ買い、いつ売るか

なぜ、スキルが不要だと言い切れるのか？

投資のプロである「仕手筋」に、
全てを任せるからです。

私たち個人投資家に必要なスキルは、仕手筋（投資ファンド）にすでに備わっています。



成功の鉄則：成功している人から学ぶ

どんなビジネスでも共通して言える成功法則です。

仕手筋（投資ファンド）は、投資の世界で既に成功している存在。彼らを選ぶ銘柄には「株価が上昇する」という価値が内包されています。

だからこそ、彼らを選んだ銘柄に、何の疑いもなく投資するのです。



注目すべき、成功している仕手筋（投資ファンド）

★ EVO FUND

★ CVI Investments, Inc.

★ バークレイズ・バンク・ピーエルシー（Barclays Bank PLC）

- マッコーリー・バンク・リミテッド（Macquarie Bank Limited）
- マイルストーン・キャピタル・マネジメント（Milestone Capital Management）

特に上位3つは投資先がかなり多く、相当な資金力と実績があります。

これで、投資の半分は完了した

銘柄選び (Stock Selection)



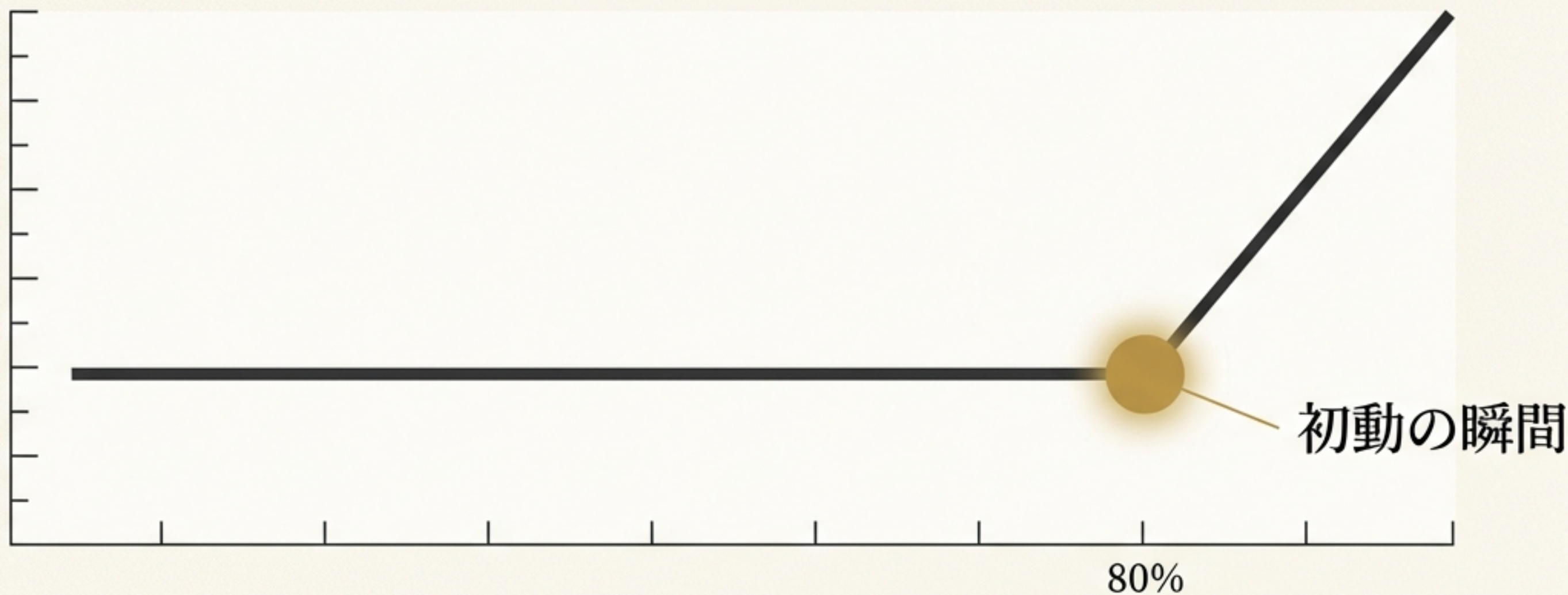
完了
DONE

取引のタイミング (Trade Timing)



これが、唯一の焦点となる
This becomes the SOLE FOCUS

取引の最適な瞬間は、ただ一つ。「初動」である。



- ・「そろそろ初動が起こりそうな銘柄」をターゲットにする。
- ・理想は、取引後すぐに株価が上昇することです。

なぜ「初動前」の取引は危険なのか？

初動前

初動後



1. 機会損失 (Opportunity Cost)

「そろそろかな」と取引しても、なかなか初動が起こらないことが多い。資金が長期間、動かせなくなる。

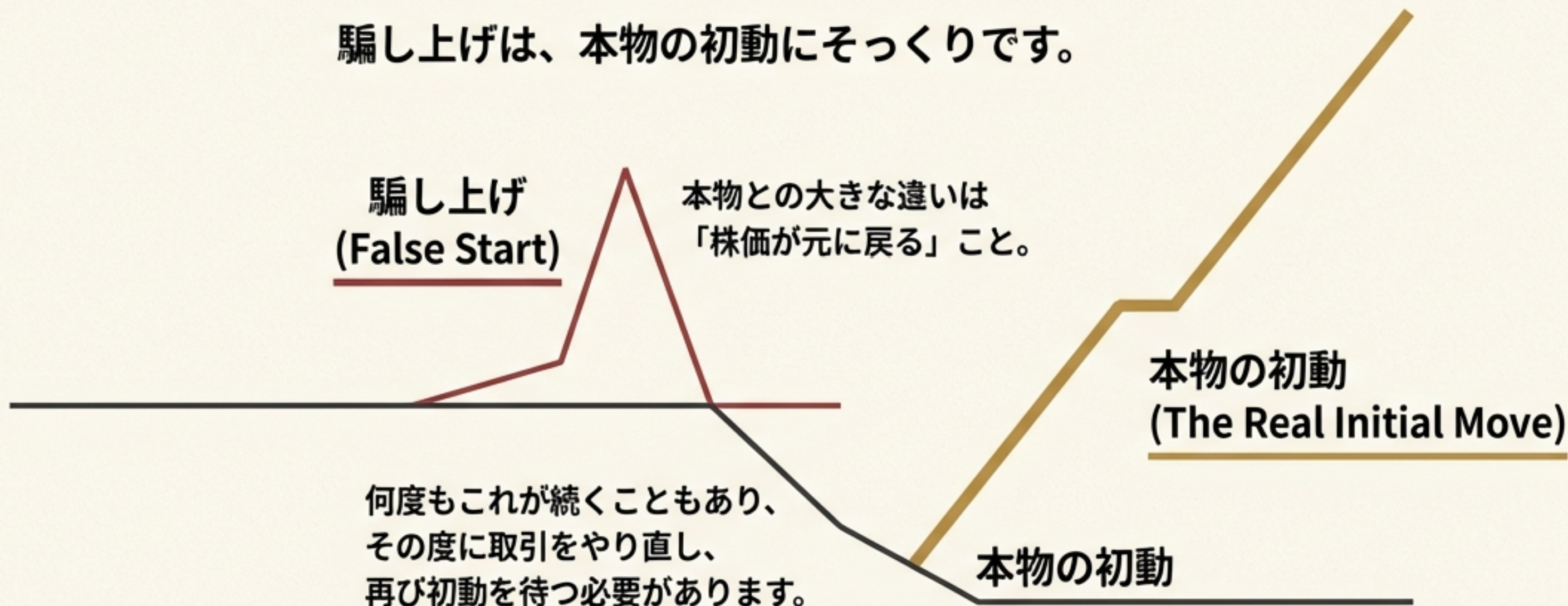


2. 株価下落リスク

初動が起こらない時に、企業が「新株予約権の再発行」を行うことがある。こうなると、確実に株価は下落します。

「初動」を見極めることの難しさ

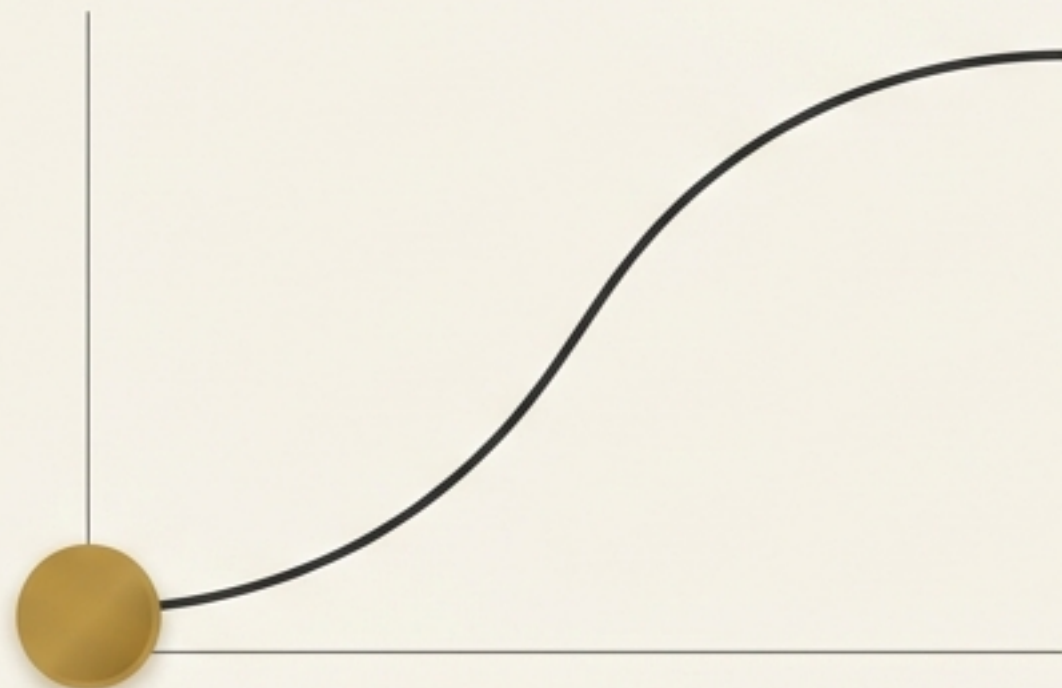
騙し上げは、本物の初動にそっくりです。



辛抱強い監視の日々が続きます。

それでも、なぜ「初動」を狙うのか？

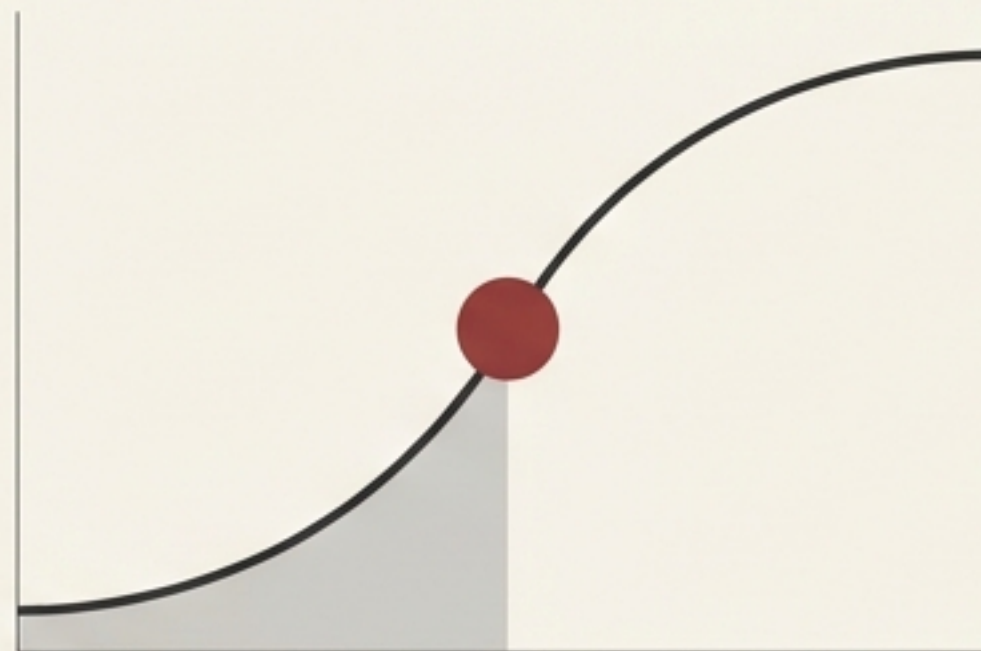
選択肢A：初動の瞬間を狙う



リスク (Risk): 騙し上げに遭う可能性がある

リターン (Return): 最大のリターンを確保できる

選択肢B：初動を確認してから取引する



リスク (Risk): かなり株価が上昇しているため、高値掴みになりリスクが高い

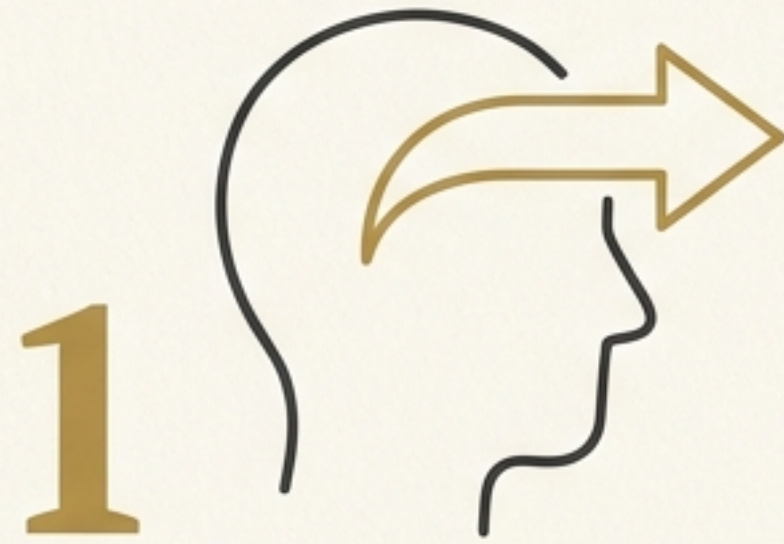
リターン (Return): リターンは限定的になる

私はそれでも初動の瞬間の方がリスクが少ないと判断しています。

格好悪くても、目的は利益。

“仕手筋（投資ファンド）のおこぼれをもらう
格好の悪い投資方法ですが、
利益さえ出ればそれでもいいと思います。
投資する目的は、とにかく利益ですので。”

スキル不要の仕手株投資フレームワーク



1. MINDSET

自分のスキルを捨て、成功者（仕手筋）に丸投げする。



2. WHO

トップクラスの仕手筋（EVO FUNDなど）を特定し、彼らが投資する銘柄を追う。



3. WHEN

辛抱強く監視し、「初動の瞬間」のみを狙って取引する。

さらなるスキルアップのために

仕手株投資で確実に利益を出し続けるためには、まだまだ知るべきことがたくさんあります。

本サイトでは、最新の仕手株銘柄の株価動向や、より深い分析を毎日お伝えしています。

今この瞬間の巡り合わせをきっかけに、仕手株投資家としてのスキルアップに突き進んでください。



仕手株.コム

仕手株で利益を出すことに特化したサイト

<https://xn--7mq578b3ie.xn--tckwe/>

